

第2学年 国語科学習指導案 【公開授業Ⅱ】

児童 2年1組 男19名 女16名 計35名
指導者 國井知栄

1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう

2 教材名 「サンゴの海の生きものたち」 (光村図書「国語2年上 たんぼぼ」)

3 単元について

(1) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」領域における目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元では、「イ 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」が学習内容の中心となる。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、これまで読んできた説明文に比べ、説明がやや複雑であり、生き物相互の関係もやや入り組んでいる。しかし、サンゴの海にすむ生き物を自然の中で目にしたことのある児童はいなくても、本教材で扱われている魚やイソギンチャクを、水族館や図鑑などで見たことのある児童はいるはずである。その意味で、本教材は、児童の日常から離れた世界のことではあるが、多くの児童が親しみをもつ教材であるといえる。

(2) 児童について

児童は、2年生の1学期に学習した説明文「たんぼぼのちえ」において、「二、三日たつと」「やがて」「このころになると」などといった時間を表す言葉に気を付けて、時間の順序どおりにたんぼぼの様子を読み取ることを学習している。また、文章全体にかかわる問いかけの文はないが、文章全体のまとめで「このように」という形で、文章をまとめていることを学習している。

レディネステストの結果では、時を表す言葉を見つけることや、何について書かれているのかを答える問題はよくできていた。しかし、説明文を書かれていた順序に並べる問題や、接続語を入れる問題の間違いがやや多かった。また、わけを尋ねる言葉を書き抜く問題では半分近い児童につまずきが見られた。

そこで、スキルタイムでは主語と述語をおさえたり、絵と文を対応させて順序よく並べる問題や時間を表す言葉をおさえたりする他に、様子やわけを表す言葉や文をおさえたり、文の内容に合わせて接続語を当てはめたりする学習を行った。

(3) 指導にあたって

まず、知っている海の生き物について話し合い、興味や関心を引き出しながら学習に入りたい。事柄の順序を考えながら内容の大体をつかむために、話題提示文、2組の魚のかかわり合い、まとめの順序という構成に気付かせ、問いに対する答えを読み取っていく活動を展開する。

そして、生き物の特徴とかかわり合いを表す言葉に着目しながら、2組の生き物たちのお互いに役に立っていることは何なのかを読み取るようにしていきたい。「それぞれの生き物たちの体の特徴」「お互いに役に立っていること」の内容の繰り返して記述されていることや、文末表現などを手がかりとし、かかわり合いの分かる語句や文を見つけサイドラインを引く活動を取り入

れていきたい。

また、読み取ったことを生かして、他の海の生き物たちについて調べたり分かったりしたことを「生き物カード」にまとめるようにしたい。

4 単元の目標

- 〈関心・意欲・態度〉・海の生きものの共生関係や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。
- 〈書くこと〉・図書館などの本を読んで、「生きものカード」を作ることができる。(イ)
- 〈読むこと〉・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。(イ)
- 〈言語事項〉・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。(イー(ア))

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味をもって読もうとしている。	①図書館などの本を読んで、「生き物カード」を作っている。	①「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読んでいる。	①片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使っている。

6 学習指導計画（全10時間 読6 書4）

過程	段階	時間	学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
	第 一 次	1	○全文を読み、学習の見通しをもつ。 ・写真を見ながら、海の生きものについて知っていることや感じたことを話し合う。 ・初発の感想を書く。 ・漢字や語句の練習をする。	・写真を見ることで、興味をもって読むことができるようにする。 ・新出漢字や、生きもの名前を正確に書けるように繰り返し練習する。	関①写真から想像を広げ、海の生きものについて興味をもって読もうとしている。 (発言・態度) 言①片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。 (態度・ノート)
		1	○題名や初発の感想をもとに、学習計画をたてる。 ○話題の提示と問いかけをおさえる。	・題名や「生きもの」「かわり合い」という言葉から読みのめあてをもつことができるようにする。	読①初発の感想をもとに、学習課題を考え、学習の見通しをとらえている。 (発言・ノート)

追 究 の 過 程	第 二 次	1	○イソギンチャクとクマノミについて、かかわり合いを読み取る。	・イソギンチャクとクマノミの体の特徴「しょく手」「オレンジ色」「ねばねばしたえき」に着目させ、かかわり合いを読み取ることができるようにする。	読①説明の順序に気を付けながら、サンゴの海の生きものたちの様子やかかわり方について読み取っている。(発言・態度)
		1	○イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いをまとめる。	・主語をはっきりとさせ、互いにどのように役立っているのかをおさえられるようにする。	読①イソギンチャクとクマノミのそれぞれの生態を読み、特徴を生かして互いに守りあっていることを読み取っている。(発言・ノート)
	(本 時)	1	○ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取る。	・ホンソメワケベラの体の特徴「青色」「黒いすじ」「十二センチメートルほど」と「そうじ」について着目させ、かかわり合いを読み取ることができるようにする。	読①説明の順序に気を付けながら、サンゴの海の生きものたちの様子やかかわり方について読み取っている。(発言・態度)
		1	○ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いをまとめる。	・主語をはっきりとさせ、互いにどのように役立っているのかをおさえる。	読①ホンソメワケベラと大きな魚がそれぞれの特徴を生かし、互いに役立っていることを読み取っている。(発言・ノート)
		1	○海の生きものについて振り返る。	・海の生きものたちがどのようにかかわり合っているのかを、読み取ったことを基にして動作化させたり、説明させたりして確認する。	読①海の生きものたちがどのようにかかわりあっているのかを、読み取ったことを基に動作化をしたり、説明をしたりしている。(発言・態度)
発 展 の 過 程	第 三 次	1	○海の生きものの本を探して読む。 ○ブックトークを聞く。	・二年生向けの本を数冊紹介する。	関①「見てみたいな」「不思議だな」のような感想をもち、進んで生きものについての読み物を読んでいる。(発言・態度) 書①本を読み、生き物カードに書く材料を集めている。(態度)

1	○読み取ったことを文と絵にまとめ、工夫してカードに書く。	・生きもの名前や特徴など、みんなに知らせたいことを文と絵にまとめることができるようにする。	書①生きものについて知りたいことを本で探して調べ、分かったことを「生きものカード」にまとめている。(カード)
1	○グループで読み合い、間違いを直したり、友達の文章のよさを見つけたりする。	・間違いを直したり、友達の書いた事柄のよさを見つけたりすることができるようにする。	

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○説明の順序に気を付けながら、ホンソメワケベラや大きな魚の特徴やかかわり方について、読み取ることができる。

(2) 研究主題にかかわって、語句に着目した指導の工夫

○ホンソメワケベラの体の特徴がわかる場所をおさえ、次に「そうじ」という語句に着目させ、説明の中心的事柄を読み取ることができるようにする。

○繰り返しの記述や、文末表現などを手がかりとし、かかわり合いの分かる語句や文を見つけサイドラインを引き、互いに役に立っていることを読み取ることができるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 前時の学習を想起する。	・前時の掲示を見ながら、イソギンチャクとクマノミが順番に出てくることや、守り合うようにかかわり合っていたことを確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。	
5分	ホンソメワケベラと大きな魚は、どんなにかかわり合いをしているのだろうか。	
	3 課題解決のための見通しをもつ。 ・どんな言葉に気を付けて読んでいくのか見通しをもつ。	・ホンソメワケベラの特徴や、大きな魚とのかかわり合いについて、着目しながら読み取っていくことを確認する。
	4 学習場面を音読する。(一斉読み)	・語や文のまとまりに気を付けて、はっきりとした発音で音読させる。

追
究
す
る

- 5 課題に迫るための読みをする。
- (1) ホンソメワケベラの特徴を読み取る。
- (2) ホンソメワケベラは何をするのか、どうして大きな魚と一緒にいるのかを読み取る。
- (3) 大きな魚は何をしているのか、読み取る。

- ・「青色」「黒いすじ」「十二センチメートルほど」の語句に着目させる。
- ・ホンソメワケベラが「そうじ魚」と呼ばれていることに着目し、大きな魚にとって役に立っていること、一緒にいるわけを考えさせる。
- ・ホンソメワケベラにとって、大きな魚が役に立っていることを考えさせる。

具体の評価規準

	A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の順序に気を付けながら、ホンソメワケベラや大きな魚の特徴を読み取り、かかわり方について自分の言葉で説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の順序に気を付けながら、ホンソメワケベラや大きな魚の特徴やかかわり方について、読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホンソメワケベラ」と「大きな魚」、「そうじ」や「食べもの」という言葉に着目させ、関係を読み取ることができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子の観察により把握する。 		

- (4) シートにまとめる。

- ・ホンソメワケベラと大きな魚になって、相手へのお礼の言葉を吹き出しに書かせ、互いのかかわり合いをまとめさせる。

33
分

ま と め る 7 分	6 まとめの音読をする。	
	7 本時の学習を振り返る。	・学習を振り返り、学習して分かったことやどんな言葉に着目したかななどを振り返る。
	8 次時の学習内容を確認する。	・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取ったことを動作化し、文章でまとめることを知らせる。

(4) 板書計画

<p>そうじをしてとった虫が食べものになる</p>	<p>大きな魚にとつていいこと</p>	<p>でも ありません わけをあらわす からです。(のです)。</p>	<p>ホンソメワケベラ 色・・・青色 もよう・・・黒いすじ 大きさ・・・十二センチメートルほど</p>	<p>写真</p>	<p>サングの海の生きものたち かだい ホンソメワケベラと大きな魚は、どんな かかわり合いをしているのだろうか。</p>
<p>ホンソメワケベラにとつていいこと</p>	<p>体や口についた虫をきれいにそうじしてもらう そうじ魚</p>				
					<p>ホンソメワケベラと 大きな魚の写真</p>

教材分析表

単元名 だいしなとくに 気をつけて読もう

教材名 「サンゴの海の生きものたち」 (教科書「国語」年上 だいせい)

- 関心・意欲・態度 ・海の生き物の共生関係や、説明文の組み立てに興味をもつて読もうとしている。
- 書くこと ・図書冊子の本を読んで、「生き物カード」を作る工夫ができる。(ア)
- 読むこと ・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立つところを、事柄の順序を考えながら読むことができる。(イ)
- 言語活動 ・片仮名漢字が混在したりし、片仮名漢字と漢字を文章の中で使おうとすることができる。(ア・イ)

文章構成図	IV まとめ	III 具体例2		II 具体例1		I 話題提示	意味	
		⑧	⑨	④	⑤			⑥
	生きものたちはかわり合っている	<p>大きな魚の口は小さな魚が入っている。</p> <p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚の体については...自然の世界には、異なる種類同士であっても互いに助け合っている。</p>
	<p>大きな魚の口は小さな魚が入っている。</p> <p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚の口は...食べ物を食べてくれるから。</p>
	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚の口は...食べ物を食べてくれるから。</p>
	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚は...食べてくれるのを助けてくれるから。</p> <p>小さな魚は...お返しをしてくれるから。</p>	<p>大きな魚の口は...食べ物を食べてくれるから。</p>